

令和7年度保健福祉センター内障がい者福祉センター指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】：令和6年度

1. 総則

指定管理者	株式会社オールケアライフ
事業期間	令和6年 4月 1日 ~ 令和 11年 3月 31日
管理体制	<p>【生活介護】管理者&lt;&lt;常勤1名&gt;&gt; サービス管理責任者&lt;&lt;常勤1名&gt;&gt; 看護師&lt;&lt;常勤3名&gt;&gt; 生活支援員&lt;&lt;常勤4名・非常勤15名&gt;&gt; 嘱託医&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt; 理学療法士&lt;&lt;非常勤2名&gt;&gt; 作業療法士&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt; 言語聴覚士&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt;                  送迎ドライバー&lt;&lt;放課後等デイサービス、自立訓練兼務 常勤1名 非常勤3名&gt;&gt; 事務員&lt;&lt;放課後等デイサービス、自立訓練兼務 常勤2名&gt;&gt;                  【放課後等デイサービス】                  *すてっぷ1組(重症心身障がい児以外対象) 管理者&lt;&lt;重心兼務 常勤1名&gt;&gt;児童発達支援管理責任者&lt;&lt;常勤1名&gt;&gt; 児童指導員&lt;&lt;常勤2名&gt;&gt; その他の従業者&lt;&lt;常勤1名 非常勤1名&gt;&gt; 機能訓練担当職員&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt; 嘱託医&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt; 送迎ドライバー&lt;&lt;生活介護、自立訓練兼務 常勤1名 非常勤3名&gt;&gt; 事務員&lt;&lt;生活介護、自立訓練兼務 常勤1名&gt;&gt;                  *すてっぷ2組(重症心身障がい児対象) 管理者兼児童発達支援管理責任者&lt;&lt;常勤1名&gt;&gt; 保育士&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt; 看護師&lt;&lt;常勤2名&gt;&gt; 児童指導員&lt;&lt;非常勤3名&gt;&gt; 機能訓練担当職員&lt;&lt;非常勤3名&gt;&gt; 嘱託医&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt; 送迎ドライバー&lt;&lt;生活介護、自立訓練兼務 常勤1名 非常勤3名&gt;&gt; 事務員&lt;&lt;生活介護、自立訓練兼務 常勤1名&gt;&gt;                  【自立訓練】(令和6年5月1日~令和6年9月30日) 管理者&lt;&lt;常勤1名&gt;&gt; サービス管理責任者&lt;&lt;常勤1名&gt;&gt; 生活支援員&lt;&lt;常勤1名&gt;&gt; 嘱託医&lt;&lt;非常勤1名&gt;&gt; 送迎ドライバー&lt;&lt;生活介護、放課後等デイサービス兼務 非常勤1名&gt;&gt; 事務員&lt;&lt;放課後等デイサービス兼務 常勤1名&gt;&gt;                  &lt;&lt;令和7年3月31日現在&gt;&gt;※法定雇用率達成している</p>
職員の勤務状況	<p>【生活介護】常勤換算1:1.5配置(前年度実績比16.8人の為常勤換算11.2人配置)                  【放課後等デイサービス】児童福祉法に則り、主に重症心身障がい児対象、主に重症心身障がい児以外対象としての配置</p>

2. 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	<p>【生活介護】                      午前8時30分から午後5時30分まで開館                      休館日は①土曜日及び日曜日②1月1日から1月3日                      ※土日であっても行事等がある場合は営業日とする土日であっても行事等がある場合は営業日とする                      【放課後等デイサービス】                      午前9時から午後7時まで開館                      休館日は①土曜日及び日曜日②1月1日から1月3日                      ※土日であっても行事等がある場合は営業日とする                      【ミーティングルーム等】                      午前9時から午後9時まで                      休館日は①土曜日②休日③12月29日から1月3日</p>	<p>協定書通りに実施し、行政やボランティア団体、一般の方からの依頼に対応した。                      貸館については、障がい当事者による日曜日の利用申し込みはなかった。</p>	<p>開館時間を超過しての利用はなかった。</p>
	受付・案内	<p>【ミーティングルーム等】                      希望日時と部屋名を受け付け、当日開錠</p>	<p>ミーティングルーム等、多数の利用あり</p>	<p>多くの利用につながるよう、予約に対して、空いている時間帯や日程を明確に伝えることで利用の幅を広げた。</p>
	料金設定	<p>障害者総合支援法第29条第1項に規定する特定費用として市長が別に定める額及び同法第29条第3項の厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額、児童福祉法第21条の5の3第1項に規定する通所特定費用として市長が別に定める額及び児童福祉法第21条の5の3第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した額。</p>	<p>【生活介護】                      食事提供に係る食材料費「400円/1食」及び利用者負担上限額に則り徴収                      【放課後等デイサービス】                      生活介護と同様に、利用者負担上限額に則り徴収</p>	<p>規定通りの徴収を行った。</p>
広報・宣伝	<p>関係機関へのパンフレットの配布</p>	<p>関係機関等の見学、体験等を受け入れる。</p>	<p>地域住民の方の見学受け入れ対応や交流の場作りを行うことができた。                      また、体験希望や、関連機関の見学に関しても受け入れができた。</p>	

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	事務室、浴室、食堂及びデイルーム等の清掃 浴室の水質管理	毎日、朝及び全利用者様帰宅後16:00以降に清掃を行い、毎週木曜日には通常の清掃に加え、次亜塩素酸溶液にて床の清掃を実施している。 汚染時には、随時次亜塩素酸溶液やアルコール等にて清掃を行っている。  浴室に関しては、全利用者入浴終了後、浴室用洗剤で清掃を行い、一般浴室の浴槽、排水溝、窓ガラスは毎週金曜日に清掃を実施している。 機械浴室での医療的ケア利用者入浴時は、毎回浴槽清掃を実施している。	浴室に関しては、通常の清掃と合わせて、毎朝床を次亜塩素酸溶液で拭き、職員は入口で外履きと内履きの区別を行い衛生管理を継続できた。  一般浴室浴槽内の水質に関しては、浴槽湯の破棄を規定日以外にも実施する等を行い、設備会社の簡易水質検査時の数値によっては、その都度塩素濃度引き上げなどの措置を継続した。
	修繕	設備の状況により、年次計画書の通り実施	ハイエース1号車 ワイヤ交換 ハイエース2号車 タイヤ交換 ハイエース3号車 リフト修理 ラジエーター修理 ハイエース6号車 リフト修理 キャラバン2号車 フロントバンパー交換 厨房食器洗浄機 給水用部品交換 厨房スチームオーブン カートリッジ交換	車両部品の劣化により故障があるが、その都度修理に出し安全に運転業務を遂行できている。 厨房機器の劣化により、故障があるが、修理にて改善できている。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数・利用料金	生活介護 利用定員20名 放課後等デイサービス (重症心身障がい児対象) 利用定員 5名 放課後等デイサービス (重症心身障がい児以外対象) 利用定員 10名	生活介護 利用のべ人数 5,549人 放課後等デイサービス (重症心身障がい児対象) 利用のべ人数 1,360人 放課後等デイサービス (重症心身障がい児以外対象) 利用のべ人数 2,056人	生活介護の利用者数は昨年度より日平均1.1名の減。  放課後等デイサービスの利用者数は、昨年度より、重症心身障がい児対象クラスは日平均1.0の減。重症心身障がい児以外対象クラスは日平均は増減なし。
	利用率	開所日数 生活介護 263日 (土日及び1/1～1/3を除く)  放課後等デイサービス 261日 (土日及び1/1～1/3を除く)	生活介護 平均利用可能定員 25人/日 平均利用者数 21.1人/日 放課後等デイサービス 平均利用可能定員 *重症心身障がい児 6.25人/日 *重症心身障がい児以外 10.0人/日 平均利用児数 *重症心身障がい児 5.3人/日 *重症心身障がい児以外 7.9名/日	生活介護においては施設入所、死亡、長期入院により利用者数減少。イベントの土曜日開催により利用者数増加に繋がった。  放課後等デイサービスにおいては、重心クラス・重心外クラス共に4月から新規利用が大幅に増えた。下半期においては、重心外クラスが私的なことや引っ越しが理由で途中解約があった。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
自主事業	夏祭り	地域との交流と開かれた施設運営を目的とした祭りの開催	8/24(土)にふれあい祭り実施し、センターを開放。ちきちん・銭太鼓・フラダンスの方達による出し物などを披露。ご家族様や地域の方を招待し、ボランティアの方にも参加してもらい、地域の方たちとも交流の場を持つことができた。	昨年度より規模を拡大し、地域の方やご家族様・多数の方に会場をいただけた。 ボランティアの参加もあり、ご家族やご利用者様からの喜びのお声もいただけた。
	遠足・外泊企画	社会資源の活用目的	祝日企画として、すてっぷ生活介護合同で、鶴見緑地公園・万博記念公園・吹田らぼーと・門真らぼーと・四条畷イオンへの外出を実施。 日中の時間を使い、深北緑地へお花見に出かけた。 生活介護での外泊企画では、生駒山麓公園に行き、花火・バーベキューを楽しんだ。	すてっぷ生活介護合同企画により、大人も子供も一緒に楽しむことができ、普段行けないところにも行くことができ、経験を積むことができた。
	お楽しみ会・クリスマス会	利用者交流目的	生活介護・すてっぷ合同で、12月にクリスマス会、2月に体育祭を実施。それぞれのお出し物や合同のお出し物を披露。ご家族様にも来場していただけた。 体育祭ではご家族様参加競技を実施。	本番に向けての練習を重ねたことで、一体感が出来た。 ご家族様参加型にしたことで、一緒に楽しんでいただけた。
	「地域情報誌 ぼど」「散歩」「レクリエーション」等	自主的な事業の開催	季節を感じる事ができる活動や散歩を実施する。1か月に1度、地域情報誌ぼどのチラシ折り、配達作業の実施。	「地域情報誌 ぼど」については全員参加のシステムを作り、全員参加の達成ができた。 「散歩」「レクリエーション」については、春には花見や近隣の公園まで出かけ、毎日の活動実施を目標とした。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
その他	職員研修	資質向上研修を実施	外部研修に参加（重たいネット、他県の入所施設見学・研修） 事業所内職員研修ではケース検討及び、介護技術研修を取り入れ、利用者理解・障がい理解等の資質向上を行った。 ドライバー向けの研修（座学・演習等）は毎月1回開催。 本部にて、新入社員に向けた研修講師も実施。	外部研修に参加した職員から研修内容の全体周知を実施し、現場へ活用できた。 ケース検討では、利用者・障がい理解を深めるとともに、職員全体の情報共有の場とすることができた。 ドライバー研修では、送迎に関する問題や事故の共有、座学・演習を実施。 他県の入所施設へ研修に行き、強度行動障がいの方への理解や関わり方を学ぶことができた。
	個人情報保護	個人情報保護研修を実施	1回/月 全体ミーティング内で実施	個人情報として捉えるべき内容の認識を職員で共有しているよう、会議で検討と情報共有を行うことができた。
	情報公開	市条例等に依り情報の公開にあたる	1回/月 受領証の発行 創作活動等費会計報告	創作活動費の使途方法等も利用者のニーズに合うように行い、会計報告を行うことで集金拒否はない。
	緊急対応	防災・防犯・安全・感染対策	防犯訓練として、護身術のビデオ研修・実際にさすまたを使用した実技研修を実施。 水害を想定し、実際に利用者様と共に避難訓練実施。 感染対策については、一介助一手洗い・手指消毒や1時間半毎の施設内の各箇所の消毒を実施した。 安全対策として、ヒヤリ・事故を毎月集計したうえで傾向を把握し、会議で報告、共有するとともに事故の減少に努めた。	実際に想定しての訓練により、改善箇所・必要物品について話し合うことができ、今後の対策について見直すことができた。 感染対策については、前年同様に継続し、感染予防に努めることができた。

事業達成度評価 コメント

離職はあったが、職員の増員と定着により法定雇用率の達成が出来た。  
 利用数に関しては、生活介護では、施設入所や長期入院、死亡等により安定した利用に繋がらず、減少した。  
 放課後等デイサービスでは、新規利用獲得はできたが安定したご利用には至っていない。  
 行事では、昨年度よりも規模を拡大して実施することができ、利用者満足に繋げることができた。  
 今後も引き続き感染対策を実施したうえで、見学者や体験希望の受け入れ、ホームページ等における情報発信の活用を行い、利用者確保に努める。  
 また、利用者に対して定期的なモニタリングを行い、ニーズの把握を行う。

事業達成度評価

**B**

凡例：事業達成度評価の区分

- A：協定事項等に定める水準を上回っている
- B：協定事項等に定める水準と同程度である
- C：協定事項等に定める水準を満たすことができなかった

(2) 利用者満足度の分析・評価

		項目	回答結果・対応状況	分析
1 利用者アンケート調査		実施方法 回答者数	・貸館利用者⇒カウンター、各部屋に常時設置【回答数0人】 ・生活介護・放課後等デイサービス⇒配布【回答数41人】	
		施設・設備の充実度	大変満足－16名【39.0%】 やや満足－13名【31.7%】 普通－7名【17.1%】 やや不満－5名【12.2%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－0名【0%】	「大変満足」の回答が減っている。 要因としては、照明の色や暗さについて不満の声が多い。昨年に続き、空調についても心配の声が上がっている。
		施設の利用のしやすさ	大変満足－23名【56.1%】 やや満足－7名【17.1%】 普通－7名【17.1%】 やや不満－3名【7.3%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－1名【2.4%】	市の建物ということで色々制限がかかる反面、行事等では広さを活かし、様々な利用の仕方をしている点を評価いただいた。
		職員の対応・態度	大変満足－24名【58.5%】 やや満足－8名【19.5%】 普通－3名【7.3%】 やや不満－4名【9.8%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－2名【4.9%】	生活介護・放課後等デイサービス利用者だけでなく、貸館利用者が来館の際も、窓口スタッフだけでなく、ホールスタッフも含めて挨拶の徹底と親切・丁寧な対応を心掛けており、貸館利用者からも高い評価をいただいた。
		利用料金	アンケートに項目なし	
		利用時間	大変満足－23名【56.1%】 やや満足－8名【19.5%】 普通－6名【14.6%】 やや不満－3名【7.3%】 大変不満－1名【2.5%】 記載なし－0名【0%】	生活介護・放課後等デイサービスの休日の開館要望や祝日の時間延長の要望が毎年上がっているが、保健福祉センター内である事を説明し、了承を得ている。 長期休暇中は朝から利用できるため、児童の保護者より感謝の声をいただいている。
		実施事業の充実度	大変満足－19名【46.3%】 やや満足－11名【26.9%】 普通－6名【14.6%】 やや不満－3名【7.3%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－2名【4.9%】	利用者や利用者家族への挨拶、対話、笑顔を大切に、信頼関係を深め、個別支援計画の全体周知や、終礼朝礼での情報共有を行い、支援の統一に努めている。
2. 市民等からの意見・要望等	主な意見・要望等の内容		対応状況等	
	サービス提供時間帯を延長してほしい		保健福祉センター内であることを説明し了承を得るとともに、利用者のニーズに応えられるようサービス提供時間帯内での、時間変更・延長等の急な対応に応えた。	
	ショートステイ・グループホームがあればよい		以前より利用児者の声として障がい福祉課へ報告するが、「実施は困難である」との回答を得ていたため、個々の利用児者への説明を行っている。	
	照明が暗いのが気になる		健康増進課に相談しスポットライトが点くように対応いただき多少は改善するも、まだ暗いとの意見が出ている。	
	冷房の故障により、施設利用が不安		修理については、健康増進課が対応し進めてくれているが、ご家族の心配が続いている。室温については引き続き計測を行い、都度現状をご説明していく。	

利用者満足度評価 コメント

施設の利用のしやすさについては約73%の方が大変満足とやや満足、職員の対応・態度については約78%の方が大変満足とやや満足、実施事業の充実度は約73%の方が大変満足とやや満足との回答をされているため、概ね良好な反応が得られていると判断。今後とも、分析・評価に努め、不満要因についてさらなる追求を深め施設利便性の向上を図っていく。なお、例年同様にショートステイやグループホームの希望があがっていた。

(3) 収支状況の分析・評価

収入の部

(単位：千円)

		予算額	実績額	実績 - 予算	備考	
委託料		0	0	0		
利用料金等	施設利用料	0	0	0		
	事業収入	生活介護	122,719	115,038	-7,681	介護職員処遇改善加算及び給食費含む
		放課後等デイサービス (重心以外)	28,852	59,596	-4,190	介護職員処遇改善加算及び給食費含む
		放課後等デイサービス (重心)	34,934			
		給食費	0	0	0	
雑入	雑収入	1,848	1,107	-741	・給食費含む ・「令和5年度 大阪府子どもの安心・安全対策支援事業補助金」(109千円)含む	
収入合計		188,353	175,741	-12,612		

支出の部

(単位：千円)

大項目	小項目	予算額	実績額	予算 - 実績	備考
人件費	給与費	147,468	108,828	38,640	予算額には福利厚生費等及び賞与を含む
	福利厚生費	0	1,496	-1,496	
	法定福利費	0	17,378	-17,378	
	賞金等(賞与)	0	16,602	-16,602	
事務費	印刷費	1,342	562	780	広告宣伝費
	通信費	2,266	1,793	473	備品購入費(消耗品費)に含む
	保険料	912	85	827	
	事務用品費	0	0	0	
	旅費交通費	2,479	1,892	587	
	賃借料	2,446	1,748	698	
管理費	業務委託費	10,287	4,199	6,088	外注費
	光熱水費	6,106	7,575	-1,469	車両費
	修繕費	1,521	1,361	160	
	燃料費	3,139	3,200	-61	
物件費	備品購入費	2,197	1,304	893	消耗品費
事業費	事業費	2,703	8,304	-5,601	研修費・接待交際費・会議費・支払手数料・減価償却費・新聞図書費・経営指導料・雑費
公租公課	租税公課	0	65	-65	
支出合計		182,866	176,392	6,474	

収支(実績ベース)

175,741 - 176,392 = -651

収支状況評価コメント

生活介護利用者数減少に伴い、予算額より事業収入は下回った。また、光熱水費の値上がり、研修や資格を取得するための研修費の増大により、実績額が予算額より下回った。  
前年度と比べると、放課後等デイサービスの新規児童獲得により事業収入は増大した。  
利用者数確保に向け、さらに利用者に喜んでいただけるような様々なイベントを計画していく。